

回首留學的一年半

江文心

到今日還能清楚記得抵達日本第一天的興奮和不安。興奮是因為終於實現留學的夢想，不安則是擔心根本不會說日文的自己存活的下來嗎？

在感想以前，想說說自己的背景。我來自台灣，畢業於國立台灣大學，大三的時候突然很想留學，評估了學術環境、獎學金申請容易度等等，選擇了日本。確定了日本以後，我評估了自己的語言能力，選擇申請了G30國際學位(国際コース(G30))。現在就讀京大農學研究所，九月畢業以後會開始在日本工作。

跳回第一段結尾的不安，雖然過程中常因為語言的事情，感覺給周遭的人造成了困擾，但我還是無事的活下來了。在來日本以前，就滿確定自己畢業後想在日本工作，所以這一年半一直滿積極的練習日文，從日常雜談到解釋研究的說明能力，同時也努力蒐集就活的資訊(每家公司的招聘流程等)，除了一般用日文進行的管道，我也使用了以英文為主的，這部分主要是想要了解哪些公司相對歡迎留學生。

在這邊想給理科後輩的、關於就活的兩個建議是，也許可以不用積極的參加實習，但請多加練習關於研究的表達能力，如何30秒內淺顯易懂的說

明你的研究是什麼，可以怎麼用在現實社會真的很重要!!!我的練習方法是找不同年齡、不同學術背景的日本人練習，最後再請同個實驗室的同學幫忙順稿，第一次的時候真的是吞吞吐吐，但會發現，經過每一次練習，自己好像又更能解釋了一點。第二個的建議是，如果已經有非常想去的幾個公司，可以先在網路上查詢一下招聘程序，或者是和日本同學討論、交換情報，這樣做可以讓自己在就活的期間更安心。

最後，留學生的大家，應該多多少少都有些時刻，感覺不到歸屬感，感覺融不進去日本然後感到疲憊吧。和幾位現在也在世界各處留學的大學同學討論過這個問題，大家不約而同都有這個感觸，也有過覺得自己撐不下去的時候。但我想或許這就是留學有趣的地方吧，在學習對抗孤獨感的同時還要認同自己。

日本相對其他國家乾淨且有制度，在京都還有溫暖的寄宿家庭協會(ホストファミリー協会)，三不五時和寄宿家庭聚餐、聊聊生活，真的是很不錯的經驗！接下來的生活，也一起努力吧(笑)！

一年半の留学を振り返って

江文心

私は今日に至るまで、日本に到着した一日目の興奮と不安をはっきり覚えています。とうとう留学の夢が叶った興奮と日本語の全然できない私がうまくやっていけるのかという不安でした。

感想を述べる前に、私のことを少し話します。

私は台湾から来ました。国立台湾大学を卒業しました。大学三年の時突然留学しようと思い立って、専門分野の事や奨学金申請の容易さなどを考えて日本に行くことに決めました。日本に行く決めてから自分の言語能力を考えて国際コース（G30）を申請することにしました。そうして今、京都大学大学院農学研究科に在学しています。9月に卒業後は日本で仕事を始めます。

はじめに述べた不安についていえば、この間言葉の問題で周りの人々を困らせることもあったかと思いますが、結局私は無事に生き延びて来ました。来日する前から私は卒業後は日本で仕事をすると決めていたので、この一年半私は普通の雑談から自分の研究の説明に至るまで日本語でできるように、本当に一生懸命日本語の勉強をしました。同時にまた就活情報（各企業の採用の流れなど）の収集にも努力しました。一般的な日本語によるアプローチ（就職支援サービスなど）だけでなく主に英語を使ったものも利用しました。これは、どこの企業がより留学生を欲しがっているかを知ろうと思ったからです。

ここで就活に関して理科系の後輩に伝えたいことを二点述べます。企業のインターンシップにはそんなに積極的に参加することは無いかと思います。それよりも、自分のやっている研究についての説明能力を鍛えてください。貴方がどんな研究をしているのか、また貴方の研究が社会でどんな役に立つかを30秒で分かり易く説明できるようにすることが非常に重要です!!! 私の練習方法はいろいろな年齢の人や専門分野の異なる日本人に話を聞いてもら

ことです。そして面接前に自分の研究室の日本人学生に原稿を見てもらいました。最初はしどろもどろでしたが練習を重ねる毎に少しずつうまくやれるようになりました。もう一点はもし幾つか是非入りたい会社があれば、まずネット上で募集要領をよく調べ、日本人学生と話をしたり情報交換したりすることです。こうすることで就活期間中自分を納得させることができます。

最後に、留学生の皆さんは多かれ少なかれ、日本社会に受け入れられなかったり、溶け込めていないように感じて疲れ切ってしまうときがあると思います。世界各地に留学している台湾大学時代の何人かの友人と話を見ると、皆同じような感触を持ち、耐えきれなくなることもあると言います。しかし私はこれが留学の醍醐味じゃないかと思っています。孤独に耐えることを学ぶと同時に自己認識を深めるでしょう。

日本はほかの国に比べて清潔で制度が整っています。京都には暖かい京都ホストファミリー協会があります。時々ホストファミリーと一緒に食事をしたり、世間話をしたりできたのは本当に良い経験でした！

これからの生活も一緒に頑張りましょう（笑）！

ファミリーから

江さんとはKAHF主催の新年会で初めてお会いしました。

豆腐を使って味覚の定量化を研究しているという彼女の話がとても興味深く、その明るい人柄とともに大変印象に残りました。

来日時は少したどたどしかった日本語もあっという間に上達し、ご本人のたゆまぬ努力で就職先も無事決まりました。

ご自身の興味、目指す方向をしっかりと把握したうえで努力する姿勢は、私も見習いたいところです。

彼女の更なる活躍を楽しみにしております。

青山由香子